

## 龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal 『世界仏教文化研究』執筆要領

## 【執筆に関する一般的な注意事項】

- 1, 原稿は横書きを原則とする。
- 2, 原稿は word で作成し電子ファイルで提出すること。また word ファイルと共に PDF も提出すること。
- 3, 画像を使用する場合、論文とは別に画像データ (Jpeg) で提出すること。また、原稿中のどの位置に画像を配置するかを明示すること。
- 4, 文章および単語を強調するために、傍点や下線を使用しても良い。ただし、他の文献からの引用文等に使用する際は、(傍点一筆者)等、その旨を明示すること。
- 5, キーワードを設定すること。論文の内容を最もよく表す単語を五つ以内でつけること。タイトルおよび本文中の単語を採録することが望ましいが、必ずしもこだわらない。
- 6, 図および表はその挿入個所を原稿内に明確に指定すること。
- 7, 論考に図表や写真、画像等を含める際には、著作権及び肖像権を侵害しないよう留意すること(公益社団法人著作権情報センターweb サイトを参照)。
- 8, 原稿中にサンスクリット、パーリ、チベット語の単語および文章を引用する場合、すべてローマ字化すること。なおこれら言語を原則ローマ字化する際は、The ALA-LC Romanization Tables の規則に従うこと。The ALA-LC Romanization Tables の詳細については、下記 HP を参照。  
<http://www.loc.gov/catdir/cpsd/roman.html>。

## 【引用に関する注意事項】

- 9, 和文の引用文献は「脚注」で、以下のように表記する。
  - 単行本—  
著者『書名』発行所、発行年、引用頁。  
【例】<sup>(1)</sup> 唐澤太輔『南方熊楠の見た夢—パサージュに立つ者—』勉誠出版、2014年、50-52頁。
  - 論文—  
著者「論文名」『雑誌名』巻数、発行年、引用頁。  
【例】<sup>(2)</sup> 能仁正顕「阿含経から大乘への展開」『龍谷大學論集』第460号、2002年、108頁。
- 10, 欧文の引用文献は「脚注」で、以下のように表記する。
  - 単行本(和訳のない場合)—  
著者, 書名〔イタリック体〕(発行地: 発行者〔出版社名〕, 発行年), 巻数: 引用頁。  
【例】<sup>(1)</sup> Frederick William. Henry. Myers, *Human Personality and Its Survival of Bodily Death* (London: Kessinger Pub Co, 1903), 1: 35-36.
  - 単行本(和訳のある場合)—

著者, 書名〔イタリック体〕(発行地: 発行者〔出版社名〕, 発行年), 引用頁.(和訳情報。)

【例】<sup>(2)</sup> Janet Oppenheim, *The Other World: Spiritualism and psychical research in England, 1850-1914* (Cambridge: Cambridge University Press, 1988), 56. (和田芳久訳『英国心霊主義の抬頭』工作舎、1992年、77頁。)

—論文—

著者, “論文名,” 雑誌名〔イタリック体〕 巻号 (発行月 発行年): 引用頁.

【例】<sup>(3)</sup> Takahiko Kameyama, “‘Correct Awareness and Firm Belief’ (*shinchi*) in the *Saigokanjō jōgyō shin'yōhō*,” *Journal of Indian and Buddhist Studies* 64, no. 3 (March 2016): 1312.

- 11, Web サイトから引用する場合は、URL(アドレス)を明示すること。
- 12, 注釈内に引用文献を記載する以外に、本文の最後に、参考文献目録(Bibliography)を記載すること。その際、アルファベット昇順に列挙すること。同一人物参考文献が複数ある場合、発行年が古い順に列挙すること。
- 13, 引用・参考文献の記載の詳細は、*The Chicago Manual Style* の最新版を参照すること。

#### 【校正に関する注意事項】

- 14, 校正は初校と再校の二回行うことができる。初校、再校ともに若干の行の移動、文章の補遺などを認めるが、なるべく体裁を変更しないことを原則とする。三校(最終稿)は、編集委員会にて行う。論文の体裁は、最終的に編集委員会で整える。
- 15, 著者校正の期間は、二回とも原則として一週間以内とする。
- 16, 校正は、編集委員会の要求する期間に終了し、校正の方法は日本工業規格原案「校正記号表」によるものとする。

#### 【査読に関する注意事項】

- 17, 原稿は、編集委員によって査読が行われ、以下の四段階で執筆者に返却される。
  - (A) そのまま掲載を許可する。
  - (B) 軽微な修正の上、掲載を許可する。
  - (C) 指示事項に従い大幅に修正の上、再審査を行う。
  - (D) 掲載不可。
- 18, 査読結果は編集委員会から著者に伝えられる。このとき査読者のコメントが添えられることがある。著者が査読結果やコメントに対して同意できない場合には、編集委員会に異議を申し出ることができる。

#### 【掲載等に関する注意事項】

- 19, 本誌に掲載された論文の著作権は、龍谷大学世界仏教文化研究センターに帰属する。
- 20, 本誌に掲載された論文を他の出版物などに転載、翻訳その他の利用をする場合、編集委員会の承認を得ること。また、本誌に掲載された論文であることを明記すること。

- 21, 本誌は E-journal のため、抜刷は行わない。投稿者自ら web サイトより印刷を行うこと。
- 22, 原稿および図表データは、以下のアドレスに送ること。  
[rcwbc-ejournal@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:rcwbc-ejournal@ad.ryukoku.ac.jp)  
龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal『世界仏教文化研究』事務局

**【その他】**

- 23, データを送る際の件名は「世仏 E-journal(氏名)」とする。
- 24, 以上、各項目およびそれ以外の全ての募集、編集事務については、編集委員会にその権限を委ねるものとする。

この要領は、2016年7月1日より発効する。

龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal『世界仏教文化研究』編集委員会